



特集！ SSH生徒研究発表会 in 神戸

皆さんは全国のSSH指定校から研究班が集まり研究発表大会が開かれているのを知っていますか。野球なら甲子園，サッカーなら国立競技場が全国大会の場として有名ですが，SSH指定校の課題研究発表の頂点は「神戸国際展示場」なのです。

今年度は8月9日・10日の2日間にわたって全国から221校が集まりSSH生徒研究発表会が開催されました。本校からはSSH最終報告会でステージ発表を行った「微生物電池に適する泥の選別～広がる微生物のチカラ～」研究班が参加しました。



神戸国際展示場 正面玄関前で

発表は，数学・情報分野(34班)，物理・工学分野(40班)，化学分野(47班)，動物・医学分野(33班)，植物・農学分野(41班)，地学分野(26班)の6分野に分かれて行われました。本校発表班は激戦区の化学分野にエントリーしました。



鹿児島中央高校発表ブース 発表直前の打ち合わせの様子

各学校ごとに1つの発表ブースが割り当てられます。作成したポスターを掲示し，鹿児島から持ってきた微生物電池(成果物)を展示して発表準備を整えます。



発表の様子 研究内容が注目を集めています。

今年度はコロナ流行以前のように一般の観客を入場させて発表会が行われたため，会場は多くの観覧者で賑わいました。その中で本校生は堂々と発表し，発表内容は多くの観覧者の関心を集めました。



発表を終えて 代表の皆さんお疲れ様でした！

今大会では残念ながら入賞できませんでしたが，大きな大会の多くの人の前で自分の研究を発表したり，他校の発表を聴くことができたことは貴重な経験となりました。現在，探究活動や研究活動を進めている1・2年生も「神戸国際展示場」を目指し頑張りましょう。